

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価
作成日 H 24 年 2 月 17 日作成

事務事業名	わかくさ図書館子どもの読書推進事業		所属部局	教育委員会		単位番号		12440	
	□ 実施計画事業			所属課室	市立図書館		課長名	深澤知恵美	
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	0	1	0	4
施策	35	生涯学習システムの推進						0	4
事業期間	□ 単年度のみ	☑ 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠	図書館法、子どもの読書活動に関する法律、南アルプス市立図書館条例					
事業の内容 事務事業の概要	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 子どもの発達段階に応じた読書支援 ・おはなし会、おはなし会0.1.2、地域出前サービスの開催 ・工作教室、映画会の開催 ・読書まつり、クリスマス会の開催 ・職場体験、図書館見学		事業費の主な内訳 (22年度)		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
				消耗品費	10				
				食料費	2				
								計	12

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	おはなし会の開催、各種教室の開催 図書館見学・職場体験
	23年度活動予定	おはなし会の開催、各種教室の開催 図書館見学・職場体験
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		子どもとその保護者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		児童書の貸出冊数が増える。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:おはなし会の開催回数	回数	
イ:各種行事の開催回数	回数	
ウ:図書館見学・職場体験の実施回数	回数	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:おはなし会の参加人数	人数	
イ:各種行事の参加人数	人数	
ウ:図書館見学・職場体験の参加人数	人数	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:18歳以下の貸出点数	点数	
イ:18歳以下の利用人数	人数	
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:児童書の貸出冊数	冊数	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	20	12	30	30	30	30
		事業費計 (A)	千円	20	12	30	30	30	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	130	181	167	167	167	
		人件費計 (B)	千円	580	807	662	662	662	0
		(A)+(B)	千円	600	819	692	692	692	0
活動指標		ア:回数	34.0	43.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
		イ:回数	10.0	9.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		ウ:回数	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
対象指標		ア:人数	589.0	799.0	822.0	847.0	873.0	899.0	
		イ:人数	469.0	344.0	361.0	379.0	397.0	417.0	
		ウ:人数	39.0	123.0	129.0	135.0	142.0	149.0	
成果指標		ア:点数	16,031.0	16,241.0	16,728.0	17,230.0	17,746.0	18,279.0	
		イ:人數	3,255.0	3,248.0	3,345.0	3,445.0	3,549.0	3,655.0	
上位成果指標		ア:冊数	26,111.0	26,382.0	27,173.0	27,988.0	28,828.0	29,693.0	
		イ:							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H15年、わかくさ図書館開館時から子どもたちに本の楽しさを伝え、読書に親しめるように開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	若草地区ばかりでなく市内から多くの親子が参加してくれるようになった。今後も若草地区の児童を中心多く児童が図書館事業に参加してくれるようになる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	行事の参加者からは、参加してよかったですという感想が多く寄せられている。これからも図書館で企画するさまざまな行事に参加したいという人がほとんどである。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 □ 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	定例のおはなし会以外に、七夕工作教室・エコ工作教室・映画会など年間を通してさまざまな行事を企画し、多くの子どもたちがそれをきっかけに本に親しんでくれるように内容を工夫している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	H21年度から定例おはなし会を多くの人が楽しんでもらえるように、月2回から3回に増やしたが、おはなし会の内容を工夫したり、ちらし配布や口コミ等で定着するように工夫してきた。

事務事業名	わかくさ図書館子どもの読書推進事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市の子どもたちが生涯を通じて読書に親しめるようにするために、子どものころから読書活動に対する働きかけが必要である。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の「子どもの読書活動推進計画」を進めるために、必要な事業である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 子ども達が本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになるためには、将来にわたり、維持・継続していくことが必要である。目的や事業の必要性を見直す余地はない。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 さまざまな行事を通して、読書の楽しさを子どもたちに知ってもらうために、今以上の創意工夫が必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 子どもたちが徒歩や自転車で来て、各種の行事に参加してもらうには、地域の図書館ごとに開催することが一番良い。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子どもの読書活動推進のための各種事業が廃止されると、子どもたちやその保護者に読書の楽しさや図書館の良さを伝えることができなくなる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の事業費の中で、さまざまな行事を工夫しておこなっているので、これ以上の削減はできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、正規職員は1名、常勤臨時職員2名で業務にあたっているが、正規が1名しかいないので、これ以上の人件費の削減はできない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 一部の乳幼児・児童だけでなく、より多くの子どもたちが図書館の行事に参加して、本の楽しさを知り図書館に親しんでもらえるように、広報等でピアールしていく必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・さまざまな事業が行われているが、より多くの子どもたちが参加できるよう、市民に向けて、更に周知していく工夫が必要である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)
(2) 改革改善案について	コスツ水準 削減維持増加 向上 成績 維持 水準 低下
①多くの子ども達と保護者が事業に参加できるように、ちらしの配布場所や広報など周知の方法を工夫する。 ② ③	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果
①より多くの子ども達とその保護者に参加してもらうために、各行事のポスターを学校、保育所、児童館などに掲示してもらうとともに、家庭へのチラシ配布をお願いする。また、現在行っているおはなし会の出前サービス等を、保育所、児童館など関係機関と連携して更に進めいく。 ② ③	成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑨